

これからの日本人

大森 海太

日本人のルーツは諸説あるが、古来の縄文人に加えて稲作や仏教、漢字などと共に大陸からの渡来人が交わったものと思われる。

ところが七世紀^{なかば}、白村江の戦いを境としてこの流れが止まり、奈良、平安時代を経て日本固有の文化が発達し、今日に至るまで島国日本を固持してきた。

その間、十四世紀後半の足利義満による明との勘合貿易、十六世紀には鉄砲の伝来、信長による西欧人との接触、タイやベトナムには日本商人の進出も見られたが、秀吉の朝鮮出兵を経て十七世紀には江戸幕府の鎖国政策により切支丹や南蛮貿易は途絶え、徳川二百六十余年の太平に籠^{こも}った。

明治に入り西欧の文化文明が流入して急速に近代化が図られ、日清、日露戦争から国粋志向が高まったが太平洋戦争で打ち砕かれ、一転してアメリカのカルチャーが流れ込んで奇跡の復興、発展を遂げ今日に至るが、日本民族としての純粋培養は略々^{ほぼほぼ}維持されてきた。

この流れに変化が見られるようになったのは最近のこと。街で外国語を話す人たちが目立つようになり、異国の容貌なのに流暢な日本語を話すスポーツ選手が現れたり、それよりもビックリするのは中国系が多くなってきたことだ。

新聞報道によるとビザ取得の要件緩和もあって、ニッポン華僑が百万人を突破する日も遠くないようだ。超富裕層は数億円のマンション取得をためらわず、その他各地でも不動産などが多く買われているとのことである。

このほか人手不足もあってコンビニのレジ（留学生？）や道路工事、ビル建設現場では外国系を見かけることが多くなった。

また某氏によると、山手線乗客の三分の一は外人だとか（ホントかな？）。

千数百年続いてきた日本人の純種ということは反面でひ弱さも否めない。地球が狭くなってきた今日、ある程度の他国人の混在や混血はむしろ望ましいかと思われる。ただ行き過ぎは避けるべきだし、また欧米諸国が苦戦している難民問題に発展せぬよう、これからの為政者には適切な舵取りが求められる。